

愛媛県における地域支援の取り組み — 愛媛モデルの概要 —



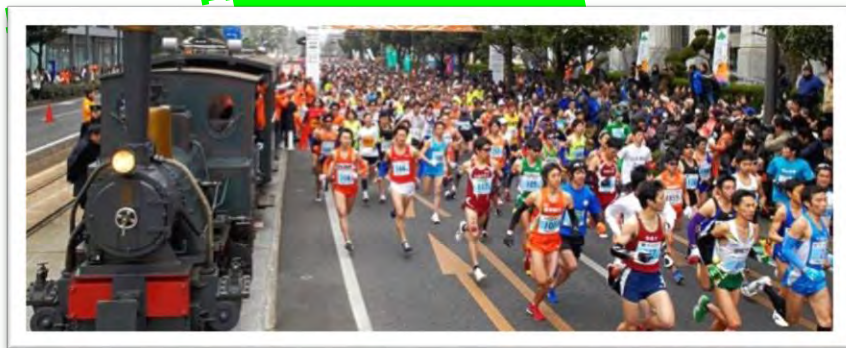
愛媛県高次脳機能障害支援拠点機関

医療法人財団 慈強会 松山リハビリテーション病院

高次脳機能障害支援コーディネーター 伊賀上 舞

野間 裕史

愛媛県の紹介



人口:約140万人

観光スポット:道後温泉本館

観光イベント:愛媛マラソン

ご当地グルメ:みかん(約30種類)

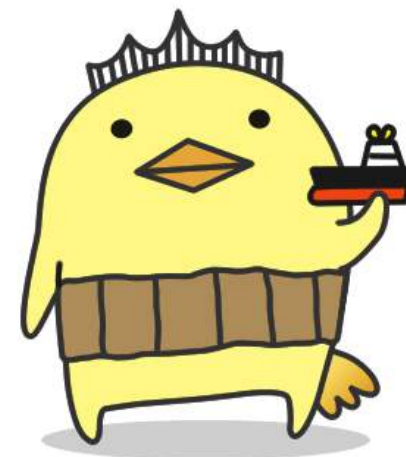
霧の森大福

焼き豚玉子飯

ご当地キャラ:みきちゃん、バリイさん

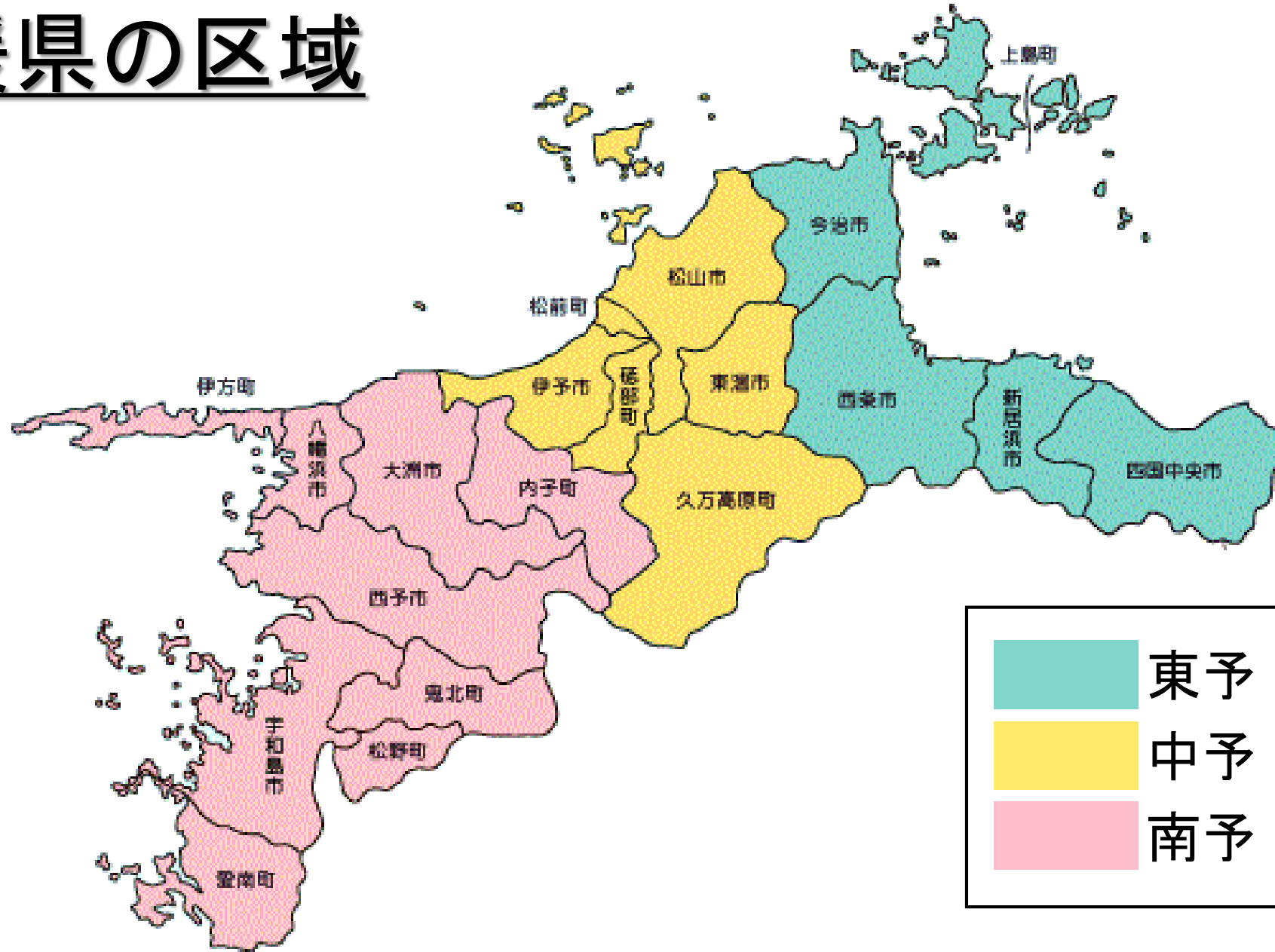


愛媛県
イメージアップキャラクター
みきちゃん

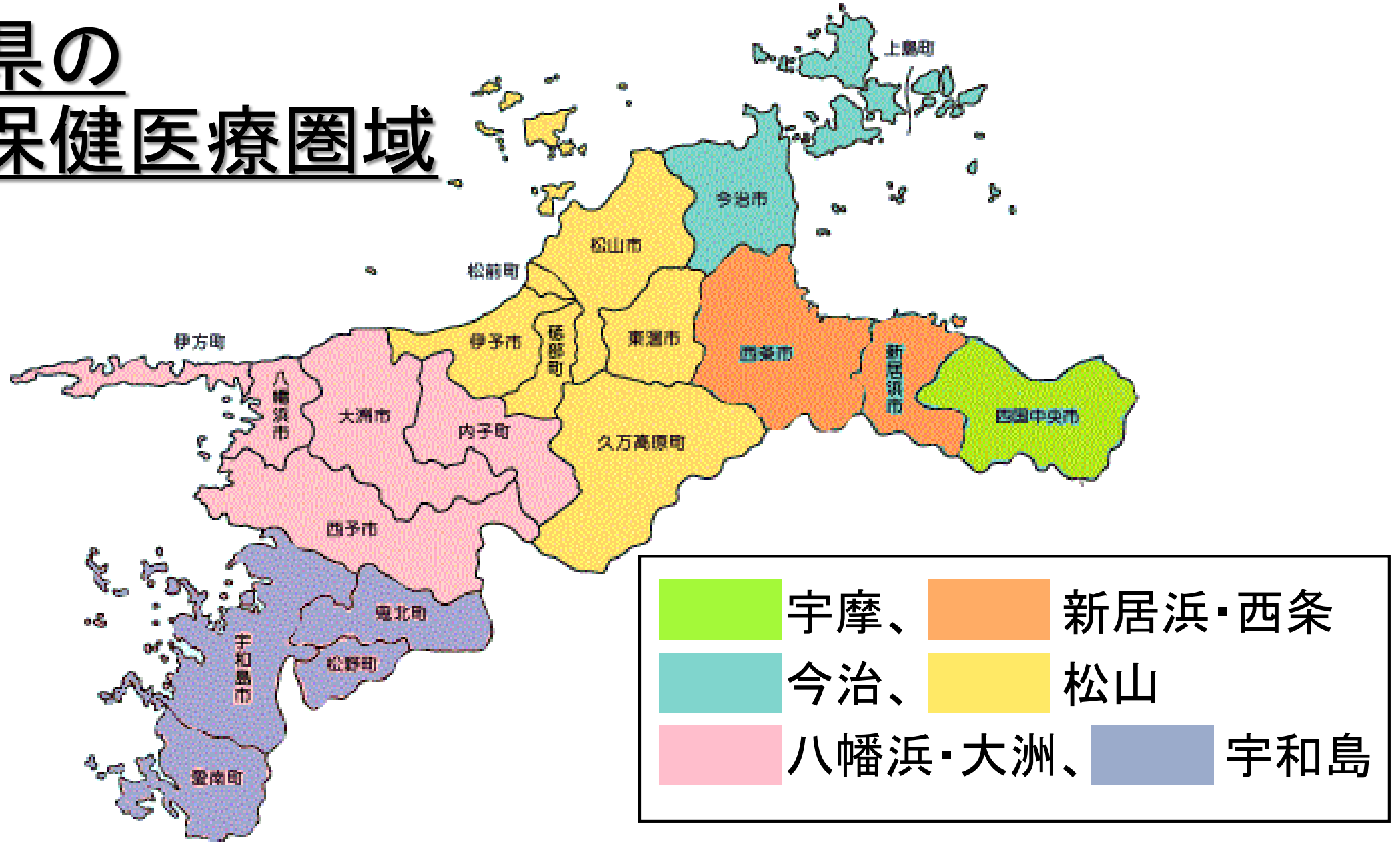


©Daichi Printing

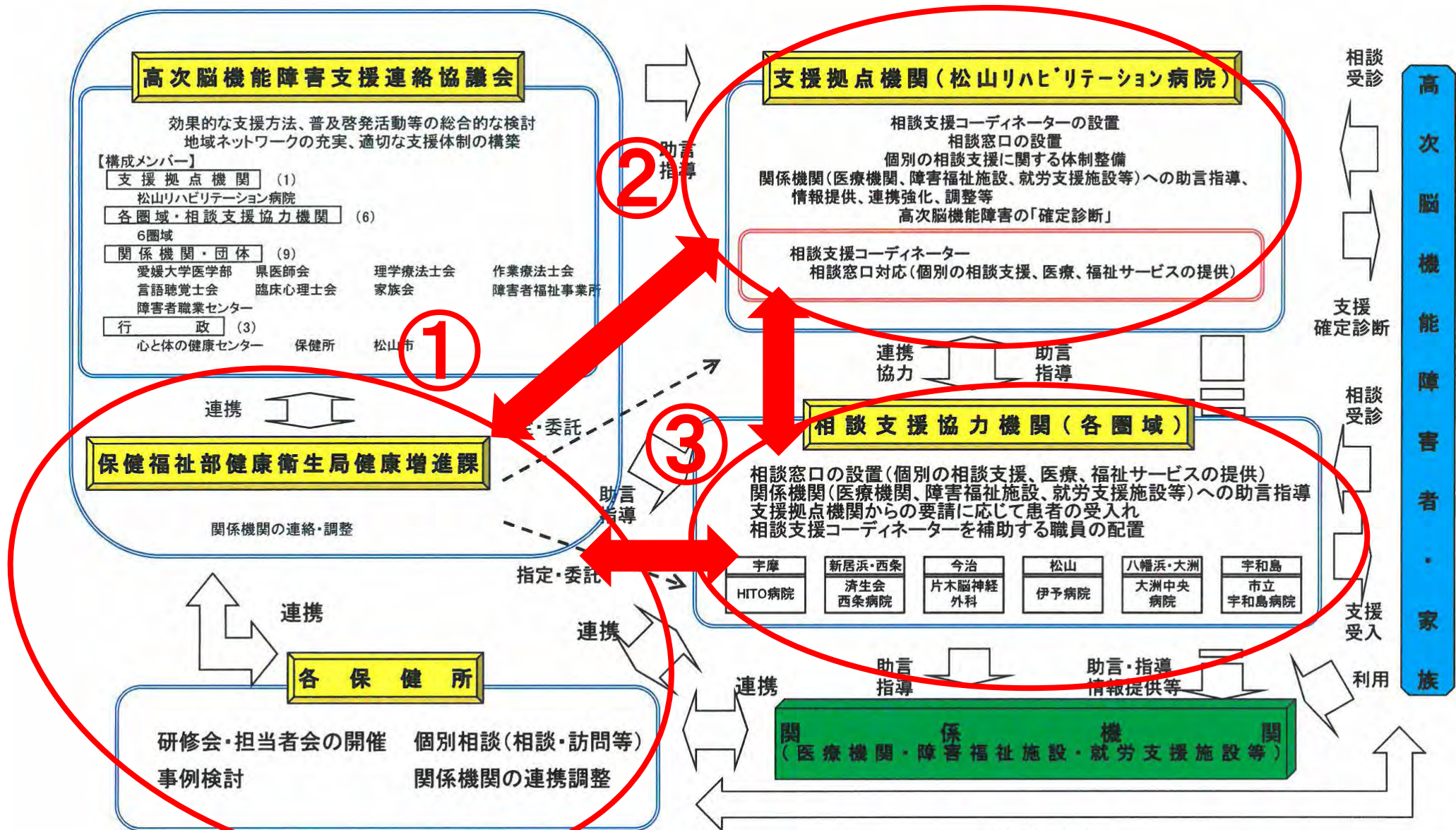
愛媛県の区域



愛媛県の 二次保健医療圏域



愛媛県支援普及事業の概要



目録の概要



(松山市保健所)



(中予保健所)



(今治保健所)



(西条保健所)



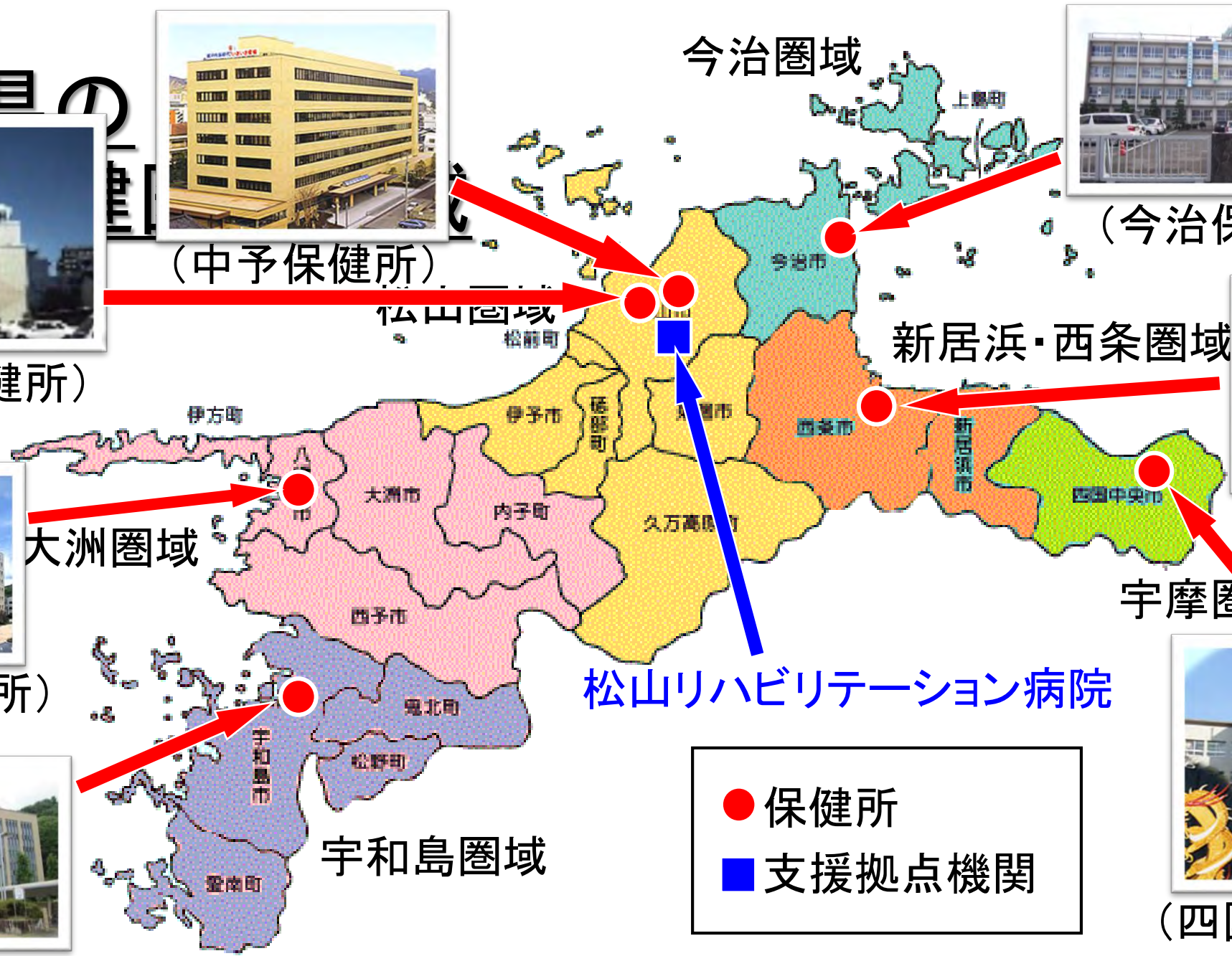
(八幡浜保健所)



(四国中央保健所)



(宇和島保健所)



今治圏域

松山圏域

新居浜・西条圏域

大洲圏域

宇摩圏域

宇和島圏域

松山リハビリテーション病院

● 保健所
■ 支援拠点機関



(伊予病院)



(片木脳神経外科)



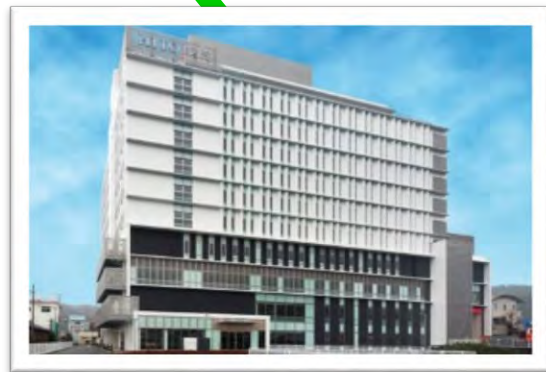
(済生会西条病院)



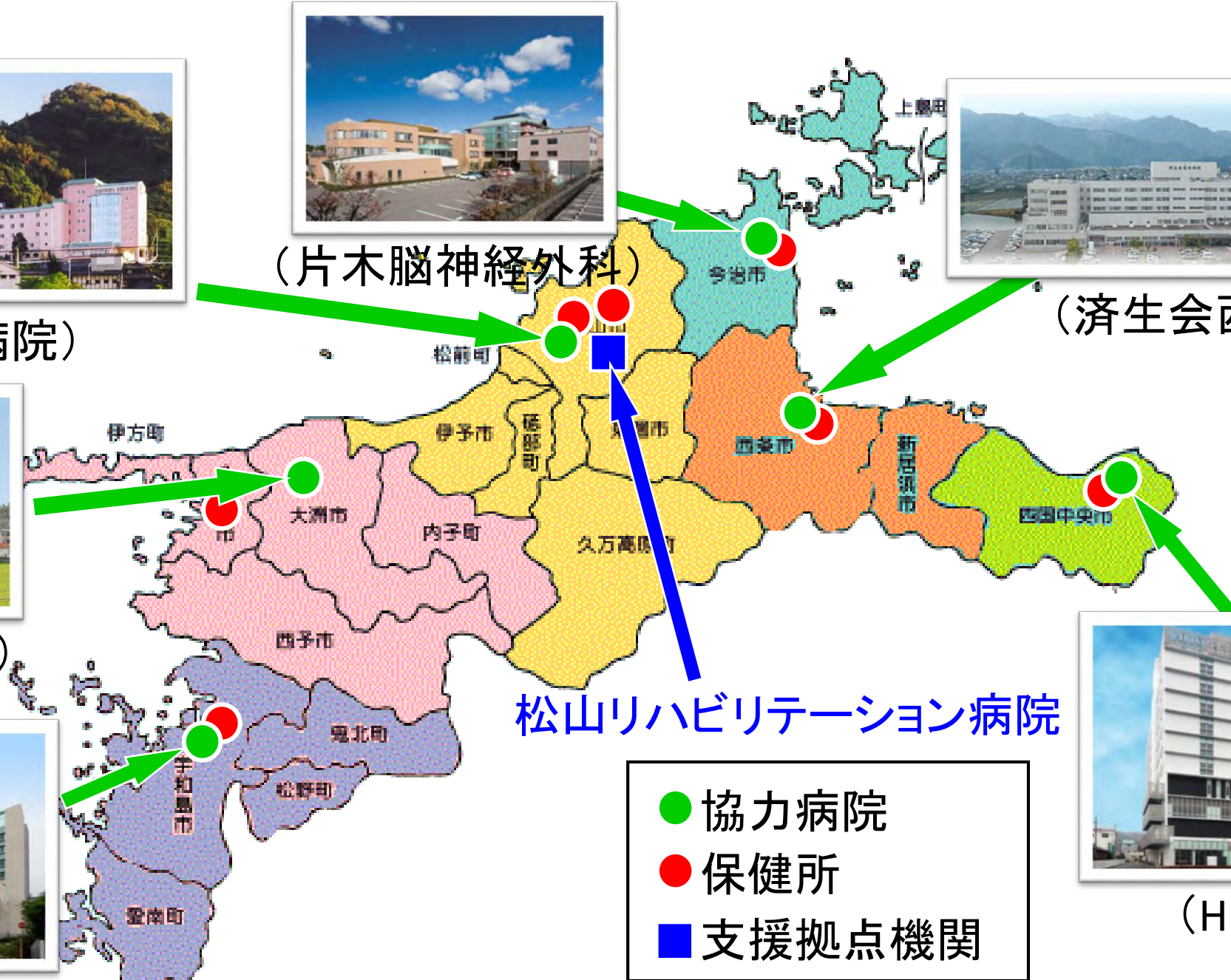
(大洲中央病院)



(市立宇和島病院)



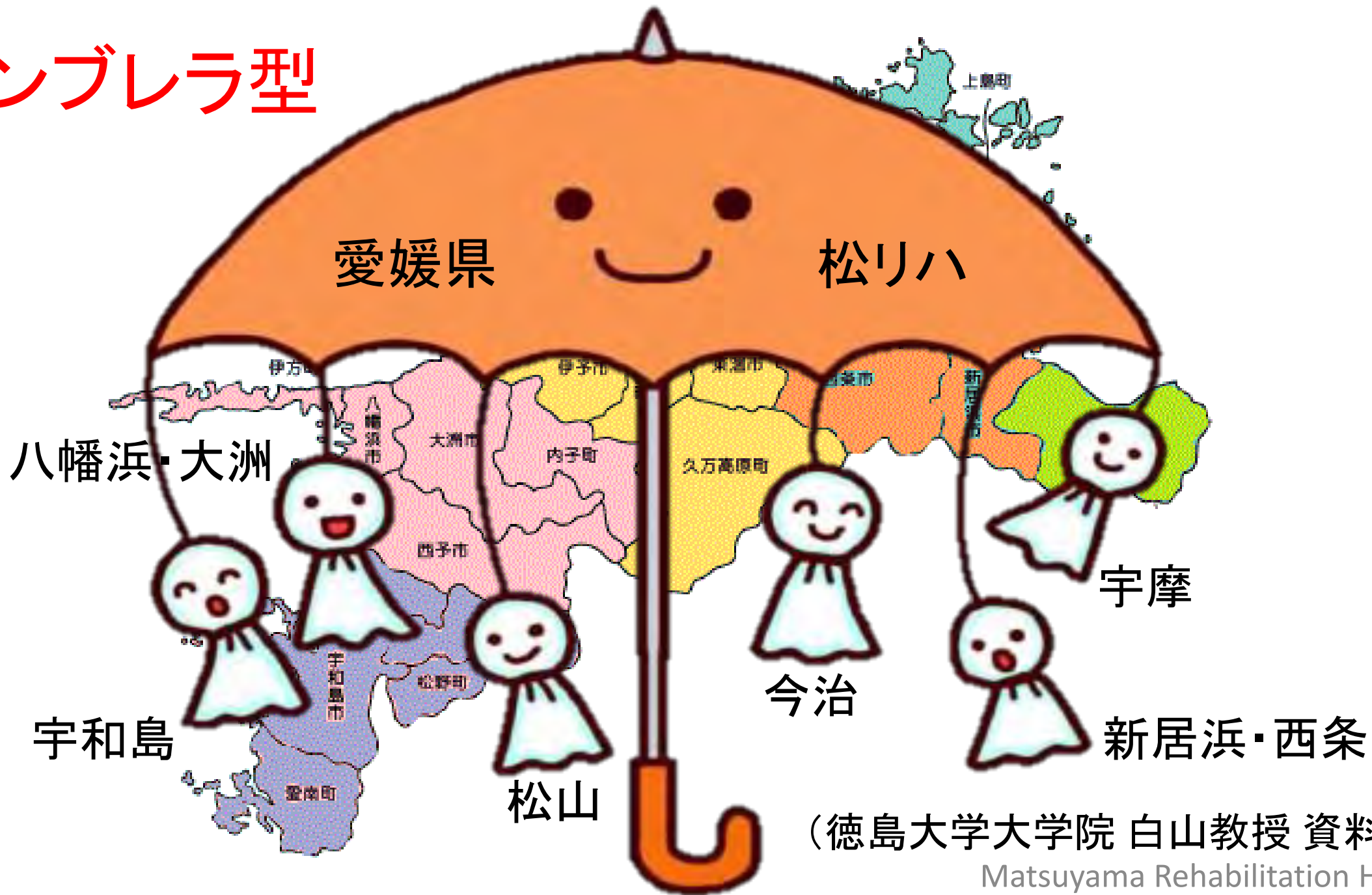
(HITO病院)



松山リハビリテーション病院

- 協力病院
- 保健所
- 支援拠点機関

アンブレラ型



(徳島大学大学院 白山教授 資料引用)

Matsuyama Rehabilitation Hospital

松山リハビリテーション病院の紹介

医療法人財団慈強会理念

リハビリテーションを
軸とした社会貢献



326床

回復期リハ病棟 160床
一般病床 116床
療養病床 50床

【回復期病棟】(H26年度実績)

平均在院日数… 81.6日

在宅復帰率…86.9%

平均リハビリ単位数…7.69単位

- ・高次脳機能障害支援室を設け、コーディネーター3名を配置。(Dr.1名、SW2名)
- ・外来リハビリでの、高次脳機能障害者に対するグループ訓練の実施。 など

入院(転院)による相談

<他病院から転院されるケース>

前院から紹介

<自宅から入院されるケース>

高次脳外来受診

初期相談
受診の同席

入院前面談の同席
紹介状の確認
(該当者の抽出)

ご入院

相談支援
コーディネーター

情報共有
スーパーバイズ

チーム医療

医師、看護師、介護士、
PT、OT、ST、
薬剤師、MSW など

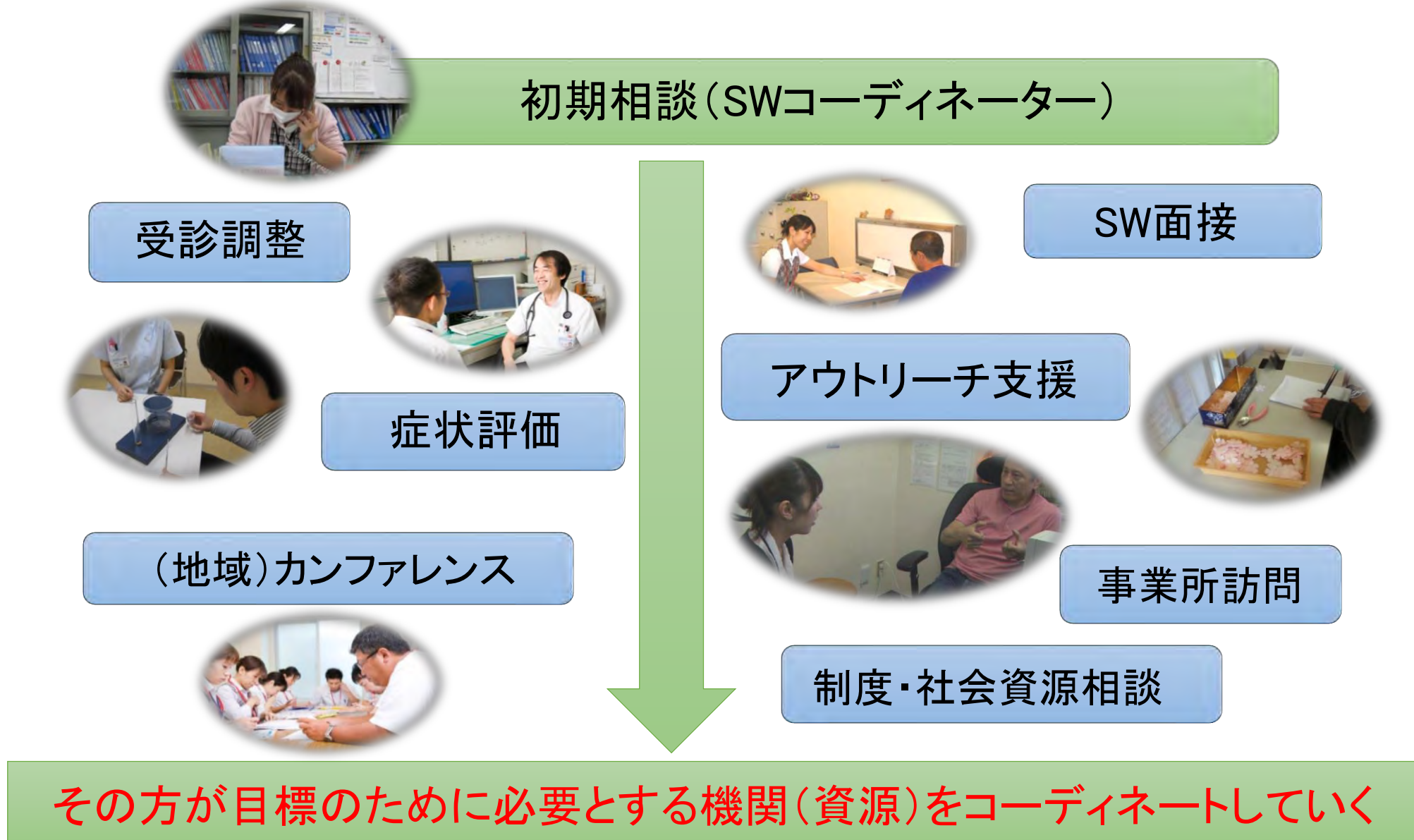
リハビリ
検査・評価
カンファレンス
社会資源調整
関係機関調整

患者様の状況確認や
他機関との連携を継続しながら、
地域の専門機関または当院で
連続した支援が受けられるようサポート

ご退院

地域生活へ(社会復帰・社会参加)

地域からの相談



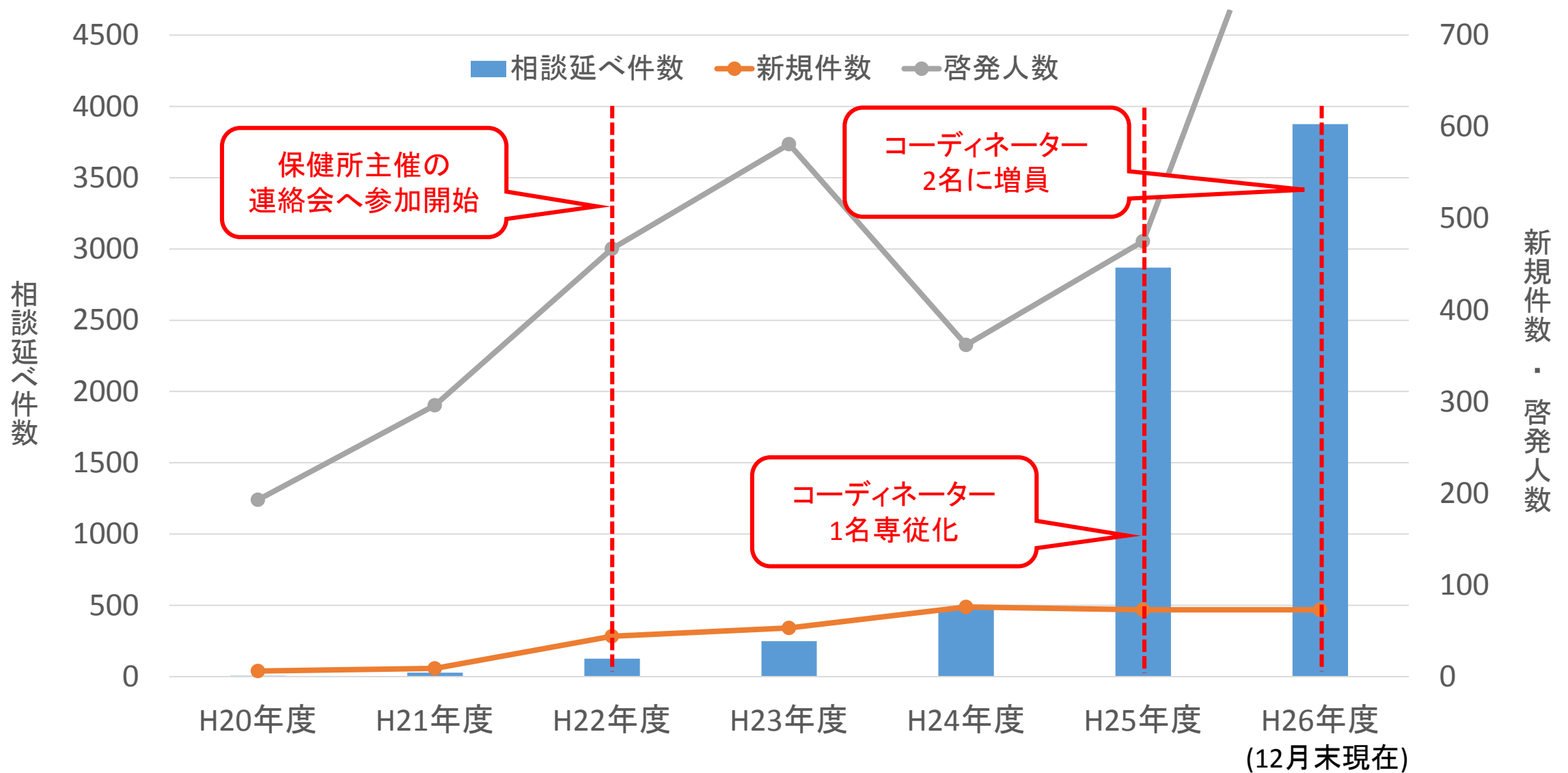
相談件数の推移(過去7年分)

	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度 (12月末現在)
新規 相談件数	6	9	44	53	76	73	73
相談 延べ件数	6	27	126	248	481	2,869	3,875

(継続件数は常時70件前後で推移)

相談延べ件数は年々増加傾向にある。

平成25年度の相談件数は前年度の6倍となり、急増している。



普及啓発活動、地域の支援機関との連携を強化したことが、相談件数アップの一つの要因として考えられる。

普及啓発活動と地域連携の強化



◆ 一般市民を対象としたイベントを実施。
(延1,000名以上の参加)

◆ 各保健所で開催される担当者会に参加し、地域の病院や事業所の担当者と、顔の見える関係づくりを積極的に行った。



講習会や研修会の企画、運営 ①

拠点機関講習会（平成21年度から毎年開催）

	講演内容	講師	参加者数
H22年度	“行為・動作に見られる高次脳機能障害”の基礎 失語症と言語に関わる高次脳機能障害について	中川賀嗣先生 大槻美佳先生	294名
H23年度	右半球症状－半側空間無視・病態失認・半側身体失認－	石合純夫先生	407名
H24年度	圏域を越えて関わった事例について、事例報告	9県コーディネーター	186名
H25年度	高次脳機能障害とは	白山靖彦先生	329名
H26年度	愛媛モデルの地域支援ネットワーク ～三重モデルとの比較から～ 高次脳機能障害支援の実際と今後の展望	白山靖彦先生 中島八十一先生	308名

講習会や研修会の企画、運営 ②

臨床高次脳機能研究会えひめ（昭和60年度から毎年開催）

	講演内容	講師	参加者数
H22年度	頭部外傷の認知リハビリテーションについて	横山和正先生	96名
H23年度	脳外傷などによる高次脳機能障害： リハビリテーションと困難さへの支援	大橋正洋先生	151名
H24年度	失語の症候学－田邊・相馬両先生が問うたこと－	本村暁先生	113名
H25年度	脳機能画像法を用いた 社会能力発達過程へのアプローチ	定藤規弘先生	91名
H26年度	高次脳機能障害と自動車運転	三村將先生	182名

講習会や研修会の企画、運営 ③

支援担当者会議

愛媛県内の医療、行政、福祉機関に参加を呼びかけ、講師を招いた講習会、事例検討会等を実施。
(今年度は愛媛労働局、ハローワークからの参加もあった。)

日本損保協会助成事業 リハビリテーション講習会

今年度より家族会より引き継ぎ、拠点主催で開催。
県内6圏域の保健所で、徳島大学大学院白山靖彦教授をお招きした講演、家族会と拠点機関の活動報告、事例学習会を実施。
中四国最大級の大型商業施設でのイベントを開催。

環瀬戸内ネットワーク会議（平成24年度から毎年開催）



【参加県】（9県）

兵庫県、岡山県、広島県、山口県、
大分県、香川県、徳島県、高知県、
愛媛県

【メーリングリスト】（11県）

上記に加え、長崎県と三重県も参加。

※ ブロック会議が終了した後も継続して実施予定。